

# 香芝市における地域公共交通の課題及び基本方針等 について（案）

議題3

## （香芝市の特徴）

### (1) 地域公共交通を取り巻く現況

- 市の西側が山地・丘陵部を擁し、住宅地でも勾配の大きい地域が存在する。
- 全市的な人口の減少局面を迎えている。
- 2045年には高齢化率が約36.3%まで増加すると見込まれている。
- 一方で、若い世帯が新たに入居する地域も存在する。
- 生活に必要な主な施設が市中央部に集積している。また、日常生活に欠かせない商業施設が市西部には立地していない。
- 70代以上の3割以上が自動車を自分で運転している。
- 鉄道や路線バス、コミュニティバスによって、既存の地域公共交通サービスが居住エリアの約97%をカバーしている。さらに、デマンド交通が市内全域でサービスを提供している。
- 市が提供する交通サービスによる民間の交通事業への影響が指摘されている。
- 高齢ドライバーによる死亡事故の発生など、高齢者の移動に対する考え方、安全・安心への意識が見直される局面を迎えている。

### (2) 香芝市が運営する地域公共交通の利用実態・ニーズ等の把握

- コミュニティバスの利用実態
  - 平成28年10月の有償化以降、利用者数は減少傾向となっている。
  - ルートや区間、便によって、利用状況に差が生じている。（利用が少ない区間が存在する）
  - 木曜に運行されている木曜シャトルの利用者は1日あたり10人以下となっている。
  - 600万円の歳入に対し、年間3,992万円の歳出を要しており、収支率は14.9%となっている。
  - 車両の老朽化が進み、更新の必要性が高まっている。
  - 運賃100円に対し、利用者1人につき557円の費用が発生している。
- デマンド交通の利用実態
  - 利用者の約8割が70代以上となっている。
  - 年間約4,154万円の歳出となっており、利用者1人につき881円の費用が発生している。
- コミュニティバス・デマンド交通利用者のニーズ
  - コミュニティバス・デマンド交通それぞれの利用者にとって、現在利用している手段が使いやすく、今後も利用し続けたいと考えている。

### (3) 上位関連計画におけるまちづくりの方向性

- まちづくりの将来像：（総合計画） ※ 新総合計画策定中  
公共交通に関する方向性
- 公共交通の効率化と利便性の向上を図る。（都市計画マスタープラン）
  - 公共バスは公共施設と市内各地域間の移動手段を確保し、施設利用を推進する。
  - デマンド交通は市民の均等な移動機会の確保と、外出支援による健康増進を図る。（総合戦略）
  - ノンステップバスや福祉タクシーの導入など、だれもが利用できる、また利用しやすい公共交通サービスの充実に努める。（バリアフリー基本構想）
  - すべての市民が安心して外出できる環境づくりを図る。（地域福祉計画・地域福祉活動計画）

### (4) 地域住民の声

- コミュニティバスやデマンド交通が、高齢者が外出する機会を創出している。
- 地域の特徴にあった計画にしてほしい。
- 地域に限らず、コミュニティバスのサービスが受けられるネットワークにしてほしい。
- デマンド交通の無断キャンセルの抑制など、利用者のマナー向上を図るべきである。
- ベンチの改善、支払いのキャッシュレス化など、利用者の使いやすさを向上させてほしい。
- しっかりと周知して、新たな利用者を取り込むべきである。
- 負担のあり方も含め、考えていくべきである。

## （地域公共交通の課題）

「年齢」や「住む場所」や「利用できる交通手段」など、市民を取り巻く環境に関わらず、いかに、誰もが住みよい香芝市を維持・創出するための地域公共交通サービスとしていくか

更なる高齢化を見据え、車依存からの脱却を図り、市民や地域の安全・安心を支える移動手段として、いかに、高齢者に選ばれ、高齢者の移動を支える地域公共交通サービスとしていくか

将来の人口減少、更なる高齢化が予測される中、いかに、市民が必要とする地域公共交通サービスを適正に維持・活性化していくか

民間事業者による鉄道、路線バス、タクシー、香芝市が運営する移動サービスによって充実する中、いかに、既存の地域公共交通サービスを有効に活用していくか

民間事業者による鉄道、路線バス、タクシー、香芝市が運営する移動サービスによって充実する中、いかに、交通モードごとの適正な役割分担をしていくか

(基本理念(案))

誰もが快適におでかけでき、  
いつまでも健やかに安心して暮らせるまち かしば

- ・ 住む場所や年齢などに関係なく、誰もが、快適に移動でき、  
持続的に、健康に、安心して暮らせる住環境が確保される交通まちづくりの実現を目指します。

(地域公共交通の課題)

「年齢」や「住む場所」や「利用できる交通手段」など、市民を取り巻く環境に関わらず、  
いかに、誰もが住みよい香芝市を維持・創出するための地域公共交通サービスとしていくか

更なる高齢化を見据え、車依存からの脱却を図り、市民や地域の安全・安心を支える移動手段として、  
いかに、高齢者に選ばれ、高齢者の移動を支える地域公共交通サービスとしていくか

将来の人口減少、更なる高齢化が予測される中、  
いかに、市民が必要とする地域公共交通サービスを適正に維持・活性化していくか

民間事業者による鉄道、路線バス、タクシー、香芝市が運営する移動サービスによって充実する中、  
いかに、既存の地域公共交通サービスを有効に活用していくか

民間事業者による鉄道、路線バス、タクシー、香芝市が運営する移動サービスによって充実する中、  
いかに、交通モードごとの適正な役割分担をしていくか

(基本方針(案))

誰もが安心・安全に生活できるための  
持続的かつ面的な地域公共交通の提供

地域特性に応じた  
適材適所で多様な地域公共交通サービスの提供

地域公共交通への理解と利用を高める  
地域公共交通に関する認知度向上と利用促進の徹底

地域住民・交通事業者・行政が一体となった  
役割分担の明確化と地域公共交通サービスの育成

(基本方針(案))

誰もが安心・安全に生活するための  
持続的かつ面的な地域公共交通の提供

地域特性に応じた  
適材適所で多様な地域公共交通サービスの提供

地域公共交通への理解と利用を高める  
地域公共交通に関する認知度向上と利用促進の徹底

地域住民・交通事業者・行政が一体となった  
役割分担の明確化と地域公共交通サービスの育成

(事業の方向性(案))

◆ 既存の地域公共交通サービスの改善

- 面的な地域公共交通サービスの維持・改善
- 鉄道&バス、鉄道&タクシー、バス&タクシーの相互利用を支える拠点整備
- バリアフリー化
- シームレス化の促進(支払い方法の工夫など)
- 利用しやすいバス車両の導入
- 手段ごとの役割に応じた多様な料金設定

など

◆ 既存の地域公共交通サービスのあり方にとられない移動ツールの導入

- タクシー車両の柔軟な活用、利用促進
- 地域で支え合うコミュニティ交通の導入

など

◆ 多様な媒体を使った情報発信

- 広報紙や動画サービスを使った地域公共交通に関する情報発信
- 無料お試し乗車券の配布
- モビリティ・マネジメントによる意識醸成

など

◆ それぞれが主体性を持った移動サービスの支援体制の構築

- 地域や利用者による運行への協力(利用促進、バス停付近の美化など)
- 担い手確保に向けた情報発信
- 地域住民(まちづくり協議会等)、交通事業者、行政が一体となって議論・検討できる場づくり

など